

# 愛の一番運動シリーズその七 青少年の健全育成

## ★社会を支える青少年

## ★育くもう！ 自覚と責任を

在学青少年にとっては長い夏休みに入ろうとしています。学校、家庭、育成会等においても夏休みの過ごし方についていろいろ話し合われていることと思います。

しかし、この長い夏休みは統計によると青少年の非行の最多発期でもあります。中でも在学青少年の非行が多くなって来ている現状です。暴力、飲酒、喫煙、シンナー遊び交通違反、怠学による家出、性犯罪等非行も多様化されています。物質的、経済的豊かさの家庭生活の中で何不自由なく過ごしている在学青少年が学校からの解放感もともなって無軌道な行動が多くなっておりま。

この様な状況から、警察をはじめ関係機関団体が特別に活動を展開し、これらの未然防止に努力していますが、その数は減少せず、逆に増加の傾向にあります。

非行は種々の要因によって引き起こされるものですが最終的には個人の意志の問題であります。青少年にたくましい意志と自覚を育てることが健全な青少年の育



成になります。青少年に目的をもたせ、希望と意欲ある生活を送らせることが、強い意志と自覚を育てる道だと考えます。

夏の甲子園球場で戦う野球選手は、優勝という目標に向かって一心に努力され、強い意志と自覚が養われ、非行を考えるすきさを感じられません。強い意志と責任を守り、お互いに協力し、いたわり合う姿には、だれしも好感がもたれます。

人間だれしも苦境に耐えるとき強い意志や責任が培われ、協力いたわり等の情緒が養われます。これからの夏休みを健全で楽しい休みとするため、青少年が強い意志と自覚責任を育成することをめざし、親である大人が指導に当たられることが望まれます。

## 防ごう非行

あなたとわたしの  
つなぐ手で

### 第29回 社会を明るくする運動

七月一日から三十一日までの一か月間、全国一斉に「社会を明るくする運動」が展開されております。この運動はすべての国民がそれぞれの立場で社会環境の浄化に努め、力をあわせて青少年の非行や犯罪をなくし、住みよい明るい社会をつくらうとする運動です。ことしの運動目標は、「地域活動の推進による青少年の非行防止」です。

青少年非行の防止は、私たちみんながしんげんに考えなくてはならない問題です。お互いに愛の手をとりあって地域から非行や犯罪をださないようにしましょう。そして住みよい明るい社会を築きましょう。

南都留地区保護司会都留分

## 青少年の環境浄化に つとめましょう

本年は、国際児童年であり、総理府主催による「青少年を非行から守る全国強調月間」も設定されました。夏期休暇中、青少年の非行化防止に果す家庭の役割・社会とのかかわりあいについて、理解と認識を深め、青少年を非行から守りましょう。

青少年のための都留市民会議及び教育委員会では、

● 少年を守る環境浄化活動を推進しよう。

● 有害図書類を収納する自動販売機の撤去を要請する。

● 飲酒・喫煙・夜遊び等不良行為のため場をなくす。

● ポルノ雑誌類を茶の間に持ち込まない。

● 良い本を読ませる習慣をつけよう。

● 少年を守る環境浄化活動を推進しよう。

## 川をきれいにする 県民運動実施

ごみの不法投棄や、汚水のたれ流しなどによって、河川はますますよごれる傾向にあります。私達にとつて川は心のふるさとであり、私達の生活に深くかかわり合っています。

この川を昔のように、魚が住み、す足で遊べる清らかな流れに戻し美しい自然を私達の手にとり戻すため、県民総参加のもとに川をきれいにする運動が実施されますので、ご協力をお願いします。

期間 昭和五十四年七月一日～七月三十一日

目標一、河川環境の整備充実  
二、河川美化意識の高揚と思想の普及

は、家庭教育のしつけのポイントが挙げられます。

○ 家族がひとつとなり、親子がなんでも話合える温かい家庭づくりを。

○ 社会のルール・善悪のけじめをはっきりとおぼえさせ、他人・社会への迷惑や侵害がなせ悪いかをよく理解させる。

● 少年非行の大きな原因となっている有害環境を浄化するため、地域住民の総ぐるみによる運動を展開しましょう。